MORINOSUKE KAWAGUCHI

株式会社盛之助 代表取締役社長 川口 盛之助

SHIGENARI YAMAMOTO

日本JC第65代会頭 山本 樹育

SPECIAL TALK

未来予測のスペシャリストが語る 世界から共感を得られる 日本の秘密

> アジア各国の政府機関から招聘を受け、ブランディングなどの支援を行う川口盛之助氏。 近著『メガトレンド 2016-2025』では精緻で広範な未来予測分析を行った彼に 日本の潜在的な力と今後の進むべき方向性について聞いた。

Photographs by Takanori Fujishiro Hair&make-up by Masaki Yoshinaka (Perle management) Text by Moho Ise & Kaoru Hori



ポップカルチャーやものづくりの魅力を 山本樹育(以下、山本) 川口さんはクー 着目のきっかけは何ですか。 世界に打ち出していらっしゃいました。 ルジャパンの先駆けとして、15年前から

川口盛之助(以下、川口) 1990年 うものをつくったら面白いよね」という 観が織りなしていて、「じゃあ、こうい 代はひとりで「クール」と吠えていまし 発想になる。 の受けてきた教育や社会システム、価値 し、あらゆる人工物には技術開発に至る に「ガラパゴス」と呼ばれました。しか は苦しい時代が到来し、日本製は自虐的 れるようになったこと。技術一筋だけで きっかけは9年代にデジタル化が進歩し たね(笑)。もともと私は技術者でした。 「目の付け方」があり、そこにはその人 た結果、たいていのものが誰にでもつく

川口 ええ。「日本ならでは」という特 川口 温水洗浄の機能やら節水機能やら、 山本 つまり、「日本ならでは」ですか。 背景に「日本人の心」がある、と(笑)。 のが、日本のトイレの話です。トイレの く共感します。川口さんの講演で好きな ら、「今」に繋がるというのは私もすご 化を生み出す国は他にはないな、と。 本ほどオリジナルな製品やスタイル、文 殊性に気付いたのは15年ほど前です。日 トイレひとつになぜそこまでこだわるの 山本 モノの背景にストーリーがあるか

除した。だから、外国人には妙に説得力 国にはありません。今、インドやアラブ はタブーです。ところが、日本では社長 えばアメリカでは家族の間でも排便の話 が好きだから発展したわけではない。例 二位まで上り詰めた時もなおトイレを掃 をしていたと思いますが、GDP世界第 日本は昔、貧しかったから自分達で掃除 輸入しようとしていますよね。おそらく ることを「教育にいいのではないか」と、 の国々が、日本の小学生が教室を掃除す う言い方もあった。こういう概念は他の イレを見れば、その会社がわかる」とい 自らトイレ掃除をする。昔は「会社のト 他の国では出来ません。単に技術

回り、日本が憧れられる存在になって、 りました。 「価値あること」と見なされるようにな 私たちが当たり前と思っていたことが しかもついに訪日観光客が出国者を上 があるのでしょう。

うになりましたよね。ただ、日本は発信 力が弱いと思うんです。 山本 私たちの「普通」が認められるよ

使って日本の対外発信をしておくことが ワークを築いておき、そういうものを 段からカルチャーを発信できるネット 山本 ひとつ気になっているのが、東日 川口おっしゃる通りですね。 す。修正する術がありませんでした。普 本大震災の時に海外で飛び交ったデマで



川口 インターネットで繋がる時代です川口 インターネットで繋がる時代ですターなどでどれだけ外国の人と繋がってターなどでどれだけ外国の人と繋がっているかが重要になってくるでしょう。下いるかが重要になってくるでしょう。下語で発信すれば、フォロワーはつく。そ語で発信すれば、フォロワーはつく。そろいうチャンネルをもっておくと、「震災で本当に起きていることができます。

山本 なるほど (笑)。 山本 なるほど (笑)。

川口 思うに、さまざまな文化が並立出来るのが日本の良いところですね。「西キー」「古きものと新しきもの」。仕立ケャー」「古きものと新しきもの」。仕立ちが終わったら古式ゆかしいお正月準備スが終わったら古式ゆかしいお正月準備なが始まる。それら両方を許容出来る国とが始まる。それら両方を許容出来る国とがから、クールジャパンを一言で形容すだから、クールジャパンを一言で形容するとしたら、「寛容」ではないでしょうか。

日本は世界の未来を提言出来る国

と思うんですよね。 "ヤクルトレディ"も、とても日本的だ山本 私は川口さんがよく例に出される

味合いも含んでいました。 ボロー そうですね。ヤクルトの商品を個川口 そうですね。ヤクルトレディが始まったのは1963年ですが、今でが始まったのは1963年ですが、今でががまったのは1963年ですが、今で

業に対する信頼が生まれた。 んですよね。それが地域に根差して、企女性ならではの保育システムも生まれた

川 時に起こっているんじゃないかと、強く なかったことは大した決断だと思います。 ているから、 ヤクルトレディはすでに市民権を確立し 思うところがあります。 新しい価値をもって生まれ変わっていく。 山本 まさに古いと思われているものが で、ヤクルトレディという形式を絶やさ 効率的なデリバリー企業が台頭するなか も許される。即日配達も可能な、便利で プライバシーの問題で難しいでしょう。 河屋さんですが、もし今同じようなこと これからの世の中は、捨てなかったから を始めようとしても、セキュリティーや 『サザエさん』でいうところの三 「原点回帰」と「未来進化」が同 ガラッと玄関の扉を開けて

川口 「こういうものがあればいいな」

の手段で達成してもいいと思うんです。の手段で達成してもいいとこと。セキュリ帝品を届けるということ。セキュリティーへの感度が高い国ならではですが日本ではありがたいことにその必然性はあまりない。むしろ、今のヤクルトレあまりない。むしろ、今のヤクルトレですよね。

ますか? のような未来を迎えると予測しておられ のような未来を迎えると予測しておられ

川口 以前、「20××年に○○が起こる」というバズワードを1万5千件ほどる」というバズワードを1万5千件ほどる」というバズワードを1万5千件ほどまめて処理したことがあったのですが、集めて処理したことがあったのですが、生アを予想する」ということです。つまり前者は「温暖化で水がなくなり、戦争が起き、人類は破滅する」と書くし、後が起き、人類は破滅する」と書く(笑)。私の意見は、どう見たってギーが開発され、世界は平和になる」とギーが開発され、世界は平和になる」とギーが開発され、世界は平和になる」とで、世界を良くしていくのではないか、と考えています。

す。未来のことを悲観的に言っても楽観き未来に対してどうアクションするのか」と安心しますね。JCとしては「来るべと安心しますね。JCとしては「来るべ

世界への貢献にも繋がるはずです。 世界への貢献にも繋がるはずです。 世界への貢献にも繋がるはずです。 世界への貢献にも繋がるはずです。 世界への貢献にも繋がるはずです。

川口 二宮尊徳に「道徳なき経済は罪悪所の、経済なき道徳は寝言である」という金言がありますが、道徳か経済どちらかだけの人はリーダーにはなれない。らかだけの人はリーダーにはなれない。らかだけの人はリーダーにはなれない。日間的化してはダメなんだということを世目的化してはダメなんだということを世間の代してはダメなんだということを世界に伝えられるのは、日本だけです。日本は過去に、GDP世界第二位の経済と本は過去に、GDP世界第二位の経済と思います。

利益を目的としない資本主義の誕生

山本 私は経済を手段とした社会貢献が 重要だと思っており、JCでも取り組も うとしています。会社の発展が、つまり いらです。今年は、VSOP運動(ボラ ンティア・サービス・ワンデイ・プロ ジェクト)と名付けた、本業を通じて利 益を追求しない社会貢献活動をしようと しています。結果的に評判や共感が集ま



Guest History

気鋭の未来学者が展開する日本論! 世界に誇れる「らしさ」とは?

『オタクで女の子な 国のモノづくり』(講談社)

なぜ、世界中で日本のメーカーだ けが、ユニークな製品をつくれる のか? その秘密は、日本が世界 に誇る「オタク的で女の子的な文 化」にある、というのが若者文化 を深く愛する著者の答えだ。日本 のモノづくりと経済を完全復活さ せるには、「萌え」や「ギャル系」 のパワーを生かした製品開発を進 めるしかないと、豊富な実例を挙 げて明快に指摘する。



『世界が絶賛する 「メイド・バイ・ジャパン」』 (ソフトバンククリエイティブ)

「クール・ジャパン」の称号を勝ち 得た今、どこでつくられたか(メ イド・イン・ジャパン) ではなく、 誰によってつくられたか(メイド・ バイ・ジャパン) がより重視され、 日本独自の文化的背景をもつ製品 やコンテンツが、世界で絶賛され ている。戦略的に商品機能に込め るべき「日本らしさ」とは何か。5 つの商品企画ビジョンに抽出し、 多くの具体例を用いてわかりやす く紹介。日本の強みを再確認でき る手引書である。

『メガトレンド 2016-2025[全産業編]』(日経BP社)

未来に関連する膨大な文献や統 計データを人・社会・技術のライ フサイクルの視点で分析し、そこ から来るべき未来像をあぶり出す。 これから起きる劇的な変化を「未 来をかたちづくる50のメガトレン ド」としてまとめ、それらが全産業 分野に何をもたらすかを提示する。



後は日本もアメリカのように、 ず私達から広めたいのです。 る会社だけが生き残るということを、 それは大変正しい流れですね。 NPOと ま

山本

それはユニークなアイデアだと思

うのですが、

私は先程も言ったとおり、

うね。 かに 川口 せるための手段のはずです。 「続けること」が目的になるでしょ 利益が目的ではないとしたら、

確

ほどの経済と道徳の話ではないですが、

活動をしていく中で、

貢献という目に見

あとは、

成果をどう可視化するのか。

企業の境目がなくなっていくでしょう。

思うのです。

本来、

利益は持続性をもた

日本型資本主義が出来るのではないかと

日本人の精神性があるからこその新しい

我々にとって普通だと思えることも、 き便座」「ママチャリ」だったんです。 国人が日本に来てクールだと思った三大 鴻上尚史さんの本にありましたが、 「アイスコーヒー」 「洗浄器付

続けるのはさすがに厳しい。

好事例に、

えないものだけでモチベーションを保ち

を生み出し、最終的には売買できるよう

.換算すると幾らになるのかという概念

ボンオフセットがあります。

C 0

山本 をつくりたいと思っています。 パンも伝統文化も総動員して、 ろうとしなくても、 知っておくべきですね。 ていることがクールなんですよ。 から見たらバリューが高いということを 私たちJCとしては、クールジャ 日本人が普通にやっ 力んで何かをや 稼ぐ地域

川口 すか? りをしたければ日本に来るしかない。 いんです。 ングするか。 ともとある は、 例えば日本では珍しくない 沢のないヨーロッパではできな ということは、 「沢登り」をどうブランディ これって再発見じゃないで 外国人は沢登 「沢登

> 憧れの街なんです。 訪れてくれる国になり、

西郷隆盛が今の日本

東京に至っては

スばかりではないですが、

世界中の人が

の探しは今すぐやめて、

足元の宝を見つ

めてほしいですね。

を見たら涙を流しますよ(笑)。

ないも

山本 ざいます。

私たちは素晴らしい文化や資源をあり余 いてほしい。 していると、どうしても暗くなりますが メッセージをいただけますか。 るほどにもっているということに気が付 日本の中で日本についての議論を ヒントになるお話をありがとうご 1961年生まれ、兵庫県出身。慶應義塾大学工 最後にJCの青年経済人に もちろん、 毎日いいニュー BP社) など。morinoske.com

Profile

川口 盛之助 Morinosuke Kawaguchi

学部卒業、イリノイ大学理学部修士課程修了。 世界的な戦略コンサルティングファームの アーサー・D・リトル・ジャパンに参画後、 株式会社盛之助を設立。国内のみならずアジ ア各国の政府機関からの招聘を受け、研究開 発戦略や商品開発戦略などのコンサルティン グを行う。さまざまな分野の先端技術や製品 の動向のみならず、マンガ、アニメ、ギャル 文化などにも精通している。著書に『オタク で女の子な国のモノづくり』(講談社)、『メ ガトレンド2016-2025(全産業編)』(日経

日本JC第65代会頭 山本 樹育

Shigenari Yamamoto

1977年生まれ。大阪府出身。慶應義塾大学経 済学部卒業。2000年7月、山本貴金属地金 株式会社に入社。経営企画室室長などを経て、 14年、同社取締役副社長に就任。2005年、 大阪青年会議所に入会。13年理事長。日本青 年会議所では、2011年に日本経済成長戦略委 員会委員長、11-12年、JCIAPDCカウンシ ラー、14年に副会頭、翌年に専務理事を経て、 会頭に就任。

THE EPILOGUE 🐃

~ 対談を終えて ~

トイレの話でもヤクルトレディの話で も、共通しているからこそ、今がある」と け継がれているからこそ、今がある」と が、何でもそう簡単に捨てるのではなく、 「なぜこれが今まで受け継がれてきたの か」と一度立ち止まって考えることが必

ということを強く感じた。

が2年前よりさらなる変化の途上にある、にお声がけさせてもらったのだが、日本以上に刺激的だった。それで今回の対談見に満ちた非常に面白いお話をされ、本

捨てない・やめない・諦めないからこストーリーがあるのだ。つまり、モノの背景には、必ず豊かな要なのではないだろうか。

昔から受け継がれてきたものには価値がある。

足元の宝を見つめ直そう。

日本への愛が強く、明るい未来像に満ち

ていて、読むと元気をもらえる。

ASPAC山形大会で開催したご本人とは、2014年6月、JC

クな視点で書かれた数々の著作だった。

川口盛之助さんを知ったのは、ユニー

そ、原点回帰と未来進化が同時進行できるのではないだろうか。古かったものがるのではないだろうか。古かったものがるのではないだろうか。古かったものがい。

フォーラムで初めてお会いした。川口さ

んは講演+パネリストの登壇者として先

す「稼ぐ地域」の実現において、このす「稼ぐ地域」の実現において、この目指と考えている。それは必ず、世界の共感と考えている。私にとって「価値」とは、を呼ぶだろう。私にとって「価値」とは、を呼ぶだろう。私にとって「価値」とは、を呼ぶだろう。私にとって「価値」とは、日本人の価値でもある。価値が高ければ、日本人の価値でもある。価値が高ければ、

「道徳と経済」はなんらかのヒントにな

のは、すごくワクワクすることだ。 の調和」である。個人それぞれが自由に 独立独歩を果たしながら、公のために生 独立独歩を果たしながら、公のために生 対必要である。経済がそこに介在すると がず循環が生まれる。そういう社会の実 の調和」である。個人それぞれが自由に をこには手段としての経済というのが絶 があず循環が生まれる。そういう社会の実 のは、すごくワクワクすることだ。

伝統文化もあればポップカルチャーもある日本、川口さんの言う「寛容」な日本を、どのようにうまく世界へと発信しなを、どのように活かせばいいのか。今うに地域の活性に活かせばいいのか。今こそ一人ひとりが考えて、実行に移す時だろう。よい模範事例を私たちの力でたくさんつくって、世界への貢献につないでいこうではないか。